

車場までは届かないので、駐車場の適当な場所に街灯の設置をお願いしたい。

答 駐車場西側にポーチなど2灯設置しているが、故障中のため、まずはそれを修繕したい。

問 日赤病院に通じる小林薬店と渡辺商事の歩道ブロックが古くなって凸凹が目立ち、歩行者がつかずいたり、転んだりしているのを見かける。木製はやめてアスファルトにした方が今後の維持管理もしやすいのではないか。

答 木製の平板ブロックは破損のひどい箇所から随時洗い出しの平板ブロックで修繕を行っており、今後も現場状況を確認しアスファルトではなく平板ブロックでの修繕を行っていく。

問 8月27日に実施された全町的な防災訓練で、町は防災無線を鳴らした、住民側は聞いていないと意見が分かれた。設備が更新されるようだが、この防災無線について、どんな時にどんな内容で、何を周知していくのか。今後防災ばかりではなく一般的な広報用としても活用していくのか、町民に解りやすく説明してほしい。

答 現在、防災無線のデジタル化を進めているが、この防災無線及び自主防災組織や各自治会に配置する戸別受信機は、人命に係る災害などが予想される場合に発令される「避難勧告」などと全国瞬時警報システム（J-アラート）の国民保護に関する情報が発信された時に、その内容について放送する。現段階においては、一般的な広報用として活用することは考えていない。また、防災無線による放送内容が確認できなかった場合を想定して、その放送内容を電話で確認できるシステムも整備する。現在運用している「情報メールおけと」に登録をすると同じ情報が配信されるので、ぜひとも登録をお願いしたい。

問 町内循環バス（患者輸送車）は、現在は拓殖住民センター発着の運行になっているが、北見バス路線外の方も利用できるよう路線の検討をお願いしたい。バス路線対象外のため、徒歩・自転車などで通院や買い物などを行っているが、冬場は特に大変である。

答 平成29年8月から、置戸市街地区にも「へき地患者輸送車」を新規運行した。利用状況を見ながら多くの方に利用していただけるよう走行ルートについて検討したいと考えている。

問 数年前にコミュニティ助成額の見直しを図り増額をしたが、小規模自治会に配分される助成額についてはほんの少し程度の増額だった。均等割り額の増額などで小規模自治会に対する再度の見直しをお願いしたい。

答 町の財政的な面や会費などによる自治会運営が基本となることから、助成金はあくまで活動の一部として考えていただきたい。小規模自治会に配慮してほしいとの要望であるが、見直しからまだ3年であり、自治連全体の意見集約も必要であるため、もう少し様子を見させていただきたい。また、戸数が減って活動に支障が出てきているとの理由から平成15年から平成17年に自治会の合併があった。課題も多くあるが、手段の一つとして議論いただきたい。自治連事務局とも十分協議をしながら相談などを行っていききたい。

問 町の広報車による広報活動はこれまでも指摘があったが、改善の兆しが見られない。住民にキチンと伝わる広報のあり方を早急に検討すべきである。

答 雨や風が強くと窓を閉め切っている時は、現状の広報車のスピーカー出力では限界がある。今後は、止まって放送するポイントを増やす、巡回する回数を増やすなど検討する。現在、防災無線のデジタル化を鋭意進めている。自主防災組織や各自治会に戸別受信機を配置し、その情報について連絡網等で伝達していただくよう考えている。また、広報車による放送内容が確認できなかった場合を想定して、その放送内容を電話で確認できるシステムも整備する。「情報メールおけと」には現在、469件の登録があるが、登録すると同じ情報が配信される。ぜひとも登録をお願いしたい。

問 川向住民センターで行う夏季の葬儀などでは、沢山の人が集まるため会場は高温になり暑い。参列者からも冷房設置の強い要望がある。主会場、厨房だけでもお願いしたい。

答 新年度において、利用者の利便の向上を図るため土足化などの改修工事費の積算をしており、施設整備課と協議し安価なエアコン設置が可能か検討していたが、建物の構造上、難しい。また、各地区の施設も同様に冷房が必要となるので、1施設のみに対応はできない。